

# 看図アプローチ協同学習ワークショップ

## －幼稚園教員養成・看護教育等でのいかし方－

安氏洋子(福岡女学院大学) 徳永基与子(京都光華女子大学)  
鹿内信善(福岡女学院大学)

キーワード：看図アプローチ、協同学習ツール、環境構成

### I. 看図アプローチとは

鹿内は看図作文の指導法開発・教材開発の研究を重ねてきた。看図作文はもともと中国の国語教育で取り入れられていた作文指導法である。看図作文は、文字通り「絵図」を「見て」作文を書く方法である。看図作文は、中国の授業の中でよく行われている。しかし授業方法論としての理論的整理はほとんどなされてこなかった。そこで鹿内は、認知心理学や物語論等の研究成果も取り入れ、日本の教育現場にも導入可能な看図作文の指導理論構成作業を行ってきた。あわせて看図作文に活用できる多くの絵図も開発してきた。さらに、様々な看図作文授業モデルを提供するために看図作文授業づくり研究もすすめてきた。看図作文授業づくり研究を行うことによって2つの発見をすることができた。第1は、絵図を読み解くプロセス・文章を産出するプロセスにおいて活発な協同学習が生まれてくるということである。第2は、看図作文授業づくりのノウハウが作文以外の教科や教育領域にも適用できるということである。

看図作文授業づくり研究から得られたノウハウを様々な教科や領域の授業づくりに適用していくことを看図アプローチとよんでいる。

### II. 本ワークショップの目的

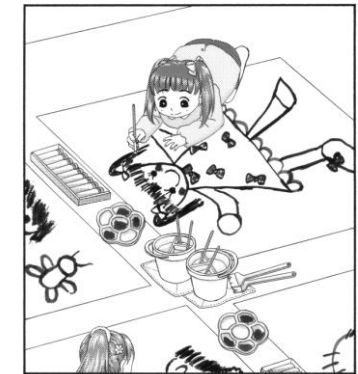
看図アプローチは、看図作文と同様に活発な協同学習を生み出す。またこの方法は汎用性があるものである。汎用性の高さを例証するために今回は、幼稚園教員養成と看護教育を、看図アプローチを適用する教育領域として取り上げる。

看図アプローチはきわめてシンプルな処理モデルを仮定している。このため初心者でも容易に実践できる。そこで今回は協同学習の入門段階にある共同研究者にもファシリテーターを務めてもらう。そのことにより看図アプローチ協同学習の実践の容易さを例証していく。

### III. 幼稚園教員養成へのいかし方

幼稚園教育実習では次のような「指導計画案」を書かせる。この指導計画案の書き方指導法として看図アプローチ協同学習はきわめて効果的である。

指導計画案				
実習生氏名	指導者氏名			
園児構成	歳児	名	作成日	年 月 日 ( )
主題(活動名)	実施予定日 年 月 日 ( )			
幼児の姿(実態)				
活動のねらい				
活動の内容				
準備するもの				場 所
時間	環境構成	幼児の活動	予想される幼児の姿	教師の配慮・援助と留意点
..... 記入欄省略 .....				



絵図の一例 ©yuki.ishida

筆者らが活用している絵図の一例を上に乗せておく。学生たちは、この絵図を協同で読み解いていく。読み解きの視点は「活動のねらい」「活動の内容」「準備するもの」「環境構成」等々、上掲「指導計画案」の各項目になる。読み解いたことをそれぞれの項目ごとに協同でまとめていけば「指導計画案」のまとめ方は自然に身についていく。

この方法を実習から戻ってからの授業でも採用できる。実習後の授業で用いれば、これは学生たちのリフレクションをサポートする強力なツールとなる。今回のワークショップでは、リフレクションツールとしてのいかし方を取り上げる。

### IV. 看護教育でのいかし方

上掲指導計画案に見られるように、幼稚園教育では「環境構成」が重視される。これは看護教育でも同様である。徳永は「病床環境を整える技術」という単元の演習で看図アプローチ協同学習を用いている(詳細は鹿内 2015 参照)。この実践で徳永が用いたビジュアルテキストは次の写真である。



今回は別のビジュアルテキストを用いて看護教育領域での看図アプローチ協同学習ワークショップを行う。

(文責 鹿内信善)

### 【参考文献】

- 鹿内信善 2015 「『看ること』から始める授業づくり－看図アプローチとは何か－」『看護教育』8月号 pp.774-779
- 鹿内信善 2013 『協同学習ツールのつくり方いかし方－看図アプローチで育てる学びの力－』ナカニシヤ出版